

広報

よっかいち

YOKKAICHI

6

No.1358 6月上旬号
平成24年(2012年)6月5日発行
編集・発行/四日市市役所広報広聴課
〒510-8601 四日市市諏訪町1番5号
市役所電話番号案内 ☎354-8104



めざせ! 未来の金メダル!!

●表紙「スポーツで頑張る市民」
四日市ジュニアレスリングクラブ

特集

いつまでも自分らしく住み続けられるまちに

特集
地域で支える
医療・福祉・
健康

いつまでも 自分らしく 住み続けられるまちに

本市が高齢者に対して行ったアンケート調査(※1)によると、最期を自宅で迎えたいという人が42.3%にも及びます。今後、人口減少時代に突入り、少子・高齢化が進んでいく中で、地域で安心して住み続けられるまちづくりが、一層求められています。安心して入院・入所できる医療機関や福祉施設の整備も重要であり、併せて推進しているところですが、今回の特集では、今後、重要性が高まる「在宅医療」「在宅福祉」に注目して、市の取り組みや地域で実際に携わっている人の声を紹介しながら、考えていきます。(※1)四日市市「高齢者介護に関する調査結果」(平成22年度)



在宅医療・福祉の推進を 地域のネットワークで

多くの人が病気になっても住み慣れた地域で生活したいと望んでいます。入院や通院ができなくても、住み慣れた地域で生活するためには、自宅に居ながらにして医療や福祉が受けられる「在宅医療」や「在宅福祉」が重要となってきます。

市では、福祉の拠点における医療との連携や病診連携、ならびに緩和ケア(※2)の推進、訪問診療・看護の体制づくりなど、在宅での療養をサポートするシステムを整え、安心して住み続けられるまちを目指しています。

(※2) 身体的苦痛や気持ちのつらさなど、その人の苦痛を少しでも和らげるためのサポートを行い、その人らしい生活を送れるようにするケア



連携を進めるための
医療関係者と介護関係者の話し合い

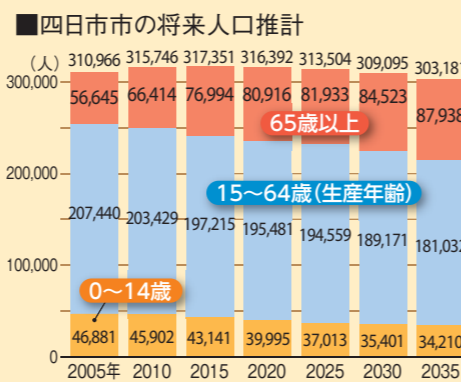
●医療と福祉の連携

地域包括支援センター(※3)が調整役となり、医療関係者と介護関係者が集まり、分野を越えた多職種の連携を進めています。

(※3) 介護予防や権利擁護など、皆さんの健康の維持、福祉の向上のために必要な援助・支援を包括的に行う地域の中核機関で、市内に3カ所あります

四日市市の人口の見通しは？

2010年に66,414人だった65歳以上の人口は、25年後の2035年には、87,938人と2万人以上増加し、高齢化率は29.0%となる見通しです。



在宅での療養を支える 医療提供体制づくり

本人や家族を中心に
関係機関が連携して
地域での生活を
支えます。



在宅医療や在宅福祉が今後ますます重要となる中で、できる限り地域で住み続けられるように、医療提供体制を整えていく必要があります。身近な地域における「かかりつけ医」や自宅に居ながら診療や看護が受けられる「訪問診療」・「訪問看護」の役割が不可欠となってきます。

在宅医療を支える 医師

患者さんの思いに 寄り添う医療を



四日市医師会
在宅医療推進委員会
委員長
加藤 尚久さん

ご自宅で最期まで過ごしたいという希望がありながら、病院で亡くなる人が大多数を占めるという現状はやはりおかしいと思います。

私たち診療所のかかりつけ医は、長年診てきた患者さんとそのご家族の絆を守るために、支援していきたいと考えています。

急性期病院などから退院してくる患者さんを、円滑に在宅に迎え入れ、安心して療養していただける仕組みづくりが大きな課題です。そのためには、急性期病院など

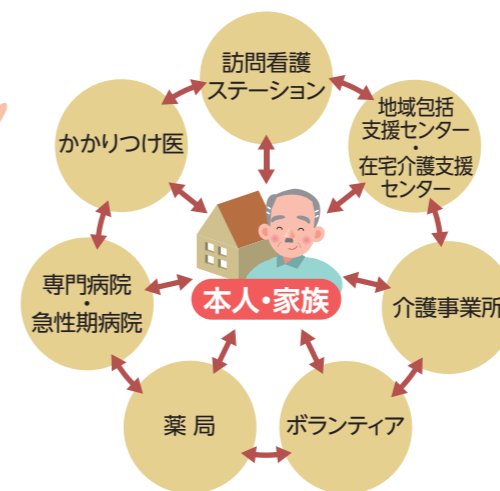
と地域の診療所、医療と福祉の関係者、それぞれが理解を深め、連携していくことが必要です。

四日市医師会では、各病院の地域連携室に働き掛け、病院での医療情報を在宅関係者に円滑に伝えるようにし、地域包括支援センターと連携して介護関係者と顔の見える関係づくりなどを通して、患者さんの希望に応える医療を目指しています。

訪問診療を支えてくれる看護師

また、訪問診療を行う上で、看護師はなくてはならない存在です。医師ひとりの診察だけでは得られない情報を看護師が得てくれることで、きめ細やかに患者さんの様子を把握することができます。また、患者さんやご家族にとっても、療養生活について相談できる身近な存在として、安心感を与えています。

地域での生活を支える ネットワーク



気軽に相談できる 「かかりつけ医」を 持ちましょう!

かかりつけ医とは日常的な診察や健康管理などを行ってくれる身近なお医者さんのことです。患者さんや家族の体質や病歴、生活習慣を把握し、必要時には、専門病院を紹介してくれるなど、病気になったときの心強い存在です。

住み慣れた地域で安心して医療が受けられるよう、まずは「かかりつけ医」を持つことから始めましょう。詳しくは、健康総務課(☎354-8281 FAX351-3304)へ。

訪問看護師の 拡充に向けて

市内には現在、14カ所の訪問看護ステーションがありますが、在宅医療の必要性が増していく中で、拠点となる訪問看護ステーションのさらなる充実が必要です。

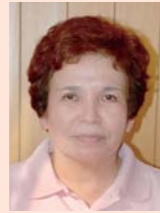
市では、訪問看護師養成講座の開催による人材育成や、資格を持ちながら就業していない「潜在看護師」の復職支援、また、訪問看護ステーションの開設補助を行っています。これらをさらに推進し、訪問看護ステーションの充実を図っていきます。



講演会で復職看護師が体験を紹介

在宅医療を支える 看護師

看護で地域に 恩返しをしたい



訪問看護ステーションの
看護師
西山 邦子さん

私はこれまで、本当にたくさんの人に助けられてここまで生きてきました。看護で地域に恩返しをしたいという思いで、市の補助制度を利用して訪問看護ステーションを立ち上げました。

訪問看護は、病気を見つめるだけではなく、患者さんが望む生き方を実現するためのお手伝いをすることができる、とてもやりがいのある仕事です。看護師への復職を考えている人には、ぜひ訪問看護をしてもらいたいと思います。

また、私は訪問ボランティアナーズの会「キャンパス四日市」の代表もしています。現役への復帰が難しい人は、ぜひボランティアから始めてみてはいかがでしょうか。

●お問い合わせ／☎340-8177



看護師に復帰したい人、 訪問看護師になりたい人は!

市では、看護師として復帰したい人や訪問看護師になりたい人を対象とした講座を開催しています。

詳しくは、健康総務課(☎354-8281 FAX351-3304)へ。

市立四日市病院が在宅医療をサポート

地域連携・医療相談センター「サルビア」

市立四日市病院にある「サルビア」では、病状が安定した人や、在宅医療を希望する人に、近くのかかりつけ医を紹介しています。

また、がん末期や寝たきり状態の人など、さまざまな医療処置や介護を必要な人が安心して在宅療養できるように、必要に応じ、患者さんやその家族を中心に、退院後の医療ケアや介護プランを検討する会議「退院時ケアカンファレンス」を開催しています。

退院時ケアカンファレンス



退院時ケアカンファレンス

「退院時ケアカンファレンス」の参加者

病院の担当者

- 医師
- 看護師
- 医療ソーシャルワーカー
- 薬剤師
- リハビリスタッフ
- 栄養士 など

**患者さん
家族**

地域の担当者

- 在宅医
- 訪問看護師
- ケアマネジャー
- 地域包括支援センター相談員
- 行政担当者
- 介護機器業者 など

※出席者は必要に応じて異なります

患者さんと
ご家族の意思決定を
サポートしたい!



市立四日市病院
看護師長
森 美穂子さん

4月から新設された「退院調整看護師」を務めています。患者さんが退院という目標に戸惑うことなく向き合えるよう、医療ソーシャルワーカーや病棟看護師とともに支援します。

市立四日市病院に 増築棟が完成

さらに安心・安全で 良質な医療の提供を

在宅だけでなく、医療機関に入院している人の療養環境を改善していくことも必要です。市では、平成22年4月から、市立四日市病院の病棟増築・既設改修工事に着手していましたが、この度、増築棟が完成し、本年5月から使用を開始しています。現在は、平成25年度の完成を目指して既設改修工事を行っています。

完成した増築棟(右の建物)

建物概要

地上8階建て。免震構造で、震災などの災害時にも病院機能が維持できる構造です

手術室 (写真左上)

従来は9室だった手術室を、増築棟には新しく12室整備し、多くの手術に対応できるようになりました。また、1室は東海地方初のハイブリッド手術室(※)を導入しました

(※)天井吊り下げ型の血管造影装置と手術台を統合させた手術室で、内科的手術と外科手術がひとつの部屋でできます。そのことによって、内科的手術で緊急事態が起きても、すぐ外科手術へ移行でき、救命率が高まります

病室 (写真左中)

従来の6人床病室を解消し、4人床病室化し、療養環境を改善しました

新生児集中治療室(NICU) (写真左下)

低出生体重児(未熟児)や、重度の病気を持った新生児に対し、呼吸や循環機能の管理などを含めた専門医療を24時間体制で提供します

●お問い合わせ／市立四日市病院
☎354-1111(代表) FAX352-1565



手術室(ハイブリッド手術室)



病室



NICU

安心して暮らせるように 認知症になっても、住み慣れた地域で

高齢者の介護で、近年大きな課題となっているのが、「認知症」です。認知症は85歳以上の4人のうち1人に症状があるとされています。その症状が理解されにくいことや徘徊などの問題行動から、周りの人との関係が損なわれることが多くあります。認知症の人やその家族が安心して暮らしていくためには、周りの人の正しい理解と見守りが不可欠です。

皆さんの温かい見守りで、安心して生活できてるよ。



市では、平成22年度から2年間、国から認知症施策のモデル地区の指定を受けて、地域で見守り支える体制づくりを進めてきました。

認知症の人を地域で支える体制づくり

認知症の対応には、地域の実情に合わせた取り組みが必要であると考え、市内25カ所にある在宅介護支援センターと市内3カ所にある地域包括支援センターが中心となって取り組みを進めています。

また、地域住民も主体的にこの事業に参加してもらうため、地域の自治会や民生委員、老人会、ボランティア団体が加わった検

討委員会を設置して取り組みを進めてきました。



羽津地区認知症資源マップ作成検討委員会

高齢者見守りマップを作成

大矢知地区社会福祉協議会 会長
荒木 稔さん(写真左)、
大矢知地区老人クラブ緑寿会 会長
平賀 勝美さん

大矢知地区では、住民に認知症を理解してもらい、対応などを知ってもらうために「大矢知地区おたすけマップ」を作成しました。内容は「認知症ってなに?」、「もしも家族が行方不明になったら」、「認知症の相談にのってもらえる病院」など、認知症を分かりやすく理解できる構成になっています。必要ときには使えるようになっています。認知症に関する入門書のようなものになればとの思いで作成し、大矢知地区の全戸に配布しました。

マップにどんな内容を掲載するかにあ

たっては、関係者間で納得がいくまで何回も話し合いを重ねました。マップにはいきいきサロン(※)の紹介もしていますのでサロンの活動のPRにもなれると思います。

認知症は、恥ずかしいものではなく、誰でもなる可能性のある病気です。家族の人が認知症になった場合は、隠す必要はありませんので、気軽に相談してもらえたらと思います。高齢者と暮らす家族が少なくなってきましたので、このマップは認知症を地域で支えるための足掛かりになればと考えています。

(※)いきいきサロン…高齢者がレクリエーションなどを楽しむグループ



認知症の理解を広げる ハピサポフェスタ開催



四日市市民生委員児童委員協議会連合会 理事
橋北地区民生委員児童委員協議会 会長
高井 俊夫さん

ハピサポ橋北は、橋北地区で関係者が連携し、認知症を正しく理解することで認知症のみならず「人に優しい街」の活動を行うことと発足した組織で、ハッピーとサポートの言葉を組み合わせる名付けました。

認知症について楽しく学んでもらおうとフェスタを開催。認知症にまつわる落語、劇などや、高齢者に喜んでもらえるような懐メロ曲を歌うコンサートを行いました。

参加者の歌ったり、笑ったりする楽しそうな様子を見れたことで、準備は大変でしたが開催してよかったと思います。また、参加者には認知症予防5カ条が描かれた四日市萬古焼の湯飲み(写真右)をプレゼントしました。5カ条は四日市弁を使い、親しみやすいものにしたんですよ。次回は10月に開催する予定ですのでぜひ参加してください。

皆さんに伝えたいことは、特別なことをしなくても、普段よりちょっと優しい気持ちで、認知症の人に限らず、人と接していただければと思います。そして、このことが地域で人を支える、人に優しい街づくりの活動につながっていくと考えています。



地域で見守るため 皆さんの力を貸してください!

「見守り協力店」になりませんか?

商店などに認知症の人の見守りの協力をお願いします。「見守り協力店」には、認知症の人に優しい対応をお願いするとともに、日常生活の様子が心配で、介護・福祉サービスを利用したほうがよいと思われた場合、お近くの在宅介護支援センターなどに連絡していただきます。詳しくは、介護・高齢福祉課(☎354-8170 FAX354-8280)へ。



「見守り協力店」ステッカー

「認知症サポーター養成講座」で支援者に

認知症について正しく理解できる講座です。講座を受けて、認知症の人や家族を支える応援者になりましょう。講座を受けた人には認知症サポーターの証であるオレンジリングをお渡します。市には、約10,000人のサポーターがいます。詳しくは、介護・高齢福祉課(☎354-8170 FAX354-8280)へ。



オレンジリング



各地区にある 在宅介護支援センターに

市から委託を受け、介護、福祉、医療に関する相談に365日24時間体制で応じ、必要な支援に結び付けています。市内に25カ所あり、医療との連携を深めるため、順次、看護職の配置を進めています。詳しくは、介護・高齢福祉課(☎354-8170 FAX354-8280)へ。

地域に広がる支え合いの輪！

ここまで、地域を支える医師や看護師、在宅介護支援センター、地域包括支援センターなど、医療や福祉の現場で活躍する人々を紹介してきました。四日市には、このような専門的な分野で活躍している人々がいる一方、四日市を安心して住み続けられるまちにするために、市民活動を行っている地域の人々もたくさんいます。

支え合いの活動が生きがい



ボランティアグループ
介護のつどい「大空」
渡邊 節さん

介護施設の依頼で施設利用者が使用する足置き台など、さまざまな道具を製作したり、勉強会などの活動をしています。

足置き台は、椅子が高くて足を下ろすことができない場合に使用するもので、足のむくみを防止することができます。足置き台のおかげで、足のむくみが少なくなったという声を聞くと、本当にうれしいですね。

この足置き台は牛乳パックを使用して作っていて、何年もかけて改良が重ねられてきています。おかげで工作が上手になりました。この活動を通して、介護施設利用者のお役に立て、また、グループのメンバーとは何でも言い合える仲間になっていきますので、私たちにとって、この活動は生きがいになっています。

今後も自分たちのできる範囲でやっていけたらと思います。



● ボランティア活動に関するお問い合わせ／四日市市ボランティアセンター ☎354-8144 FAX354-6486

地域を支える健康づくりの輪「健康ボランティア」

自身の健康づくりばかりでなく、地域の人々と一緒に健康づくり活動をする「健康ボランティア」。生活習慣病予防、食生活改善、介護予防といったさまざまな場面で健康づくりの輪を広げています。

生活習慣病予防ボランティア

「ステキ健康サポーター」

市内10カ所の公園でそれぞれ週1回ずつ、運動教室を開催し、その中で健康情報の提供をしています。



食生活改善ボランティア

「ヘルスマイト」

地区市民センターなどで、調理実習を通じた教室を開催しています。



介護予防ボランティア

「ヘルスリーダー」

近所の高齢者を対象に、地域の公会所などで健康情報の提供を含め、体操、レクリエーションを実施しています。

中でも、「イキイキ教室」は各地区市民センターなどで実施され、参加者はストレッチ体操、ゲームなどを通して楽しみながら健康づくりをしています。



イキイキ教室

健康ボランティアになって
みんなで元気に過ごすために
力を貸してくれませんか。
自分も楽しいし、
元氣になれますよ。



身近な人と、身近な場所で、健康づくり

ヘルスリーダー 堀川 教子さん

私が健康づくりのボランティアに取り組むことになったきっかけは、今後の自分の健康と夫の母の介護のことを考えたときの不安からです。「高齢の母を一人で家に残しておけない」、家に閉じこもりにならないように「地域で身近に健康づくりに参加できる場がないか」という思いがありました。

そんな思いの中で、「イキイキ教室」は楽しくをモットーに健康づくりを行っています。楽しくないと続かないし、参加者の皆さんも健康づくりを目的としながらも、何より楽しみたいと心の中では思っていると感じています。

教室に参加した皆さんの「今度はいつやってくれるの」「よかったよ」という声を聞くと、励みになるし、やりがいを感じています。

これからも、より多くの人に、自分の足で行ける身近なところで、楽しく健康づくりに参加してもらえようがんばっていきます。



ここに
相談！

健康づくりのための教室に参加したい人、健康ボランティアとして活動したい人は！

市では、生活習慣病予防、介護予防教室の開催、健康ボランティアの養成などへの支援を行い、子どもから高齢者まで元気で暮らせる健康づくりを推進しています。詳しくは、健康づくり課(☎354-8291 FAX353-6385)へ。

特集後記

医療・福祉・健康の分野に地域で携わっている皆さんからお話をお伺いする中で、各地区には、とても温かい思いで、地域を支えてくれる人がたくさんいることを知りました。この「支え合いの輪」が少しでも広がるように、みんなで手を取り合い、誰もが自分らしく住み続けられるまちを目指しましょう。

(介護・高齢福祉課 瀬古、健康総務課 岡本、市立四日市病院 太田、広報広聴課 三谷・塚原)

あなたを選挙へご招待?!

投票日が近づくと、皆さんのご家庭へ投票所入場券が届きます。入場券には、投票日や投票所などが記載されており、各世帯ごとに選挙権のある人へ郵送されます。お手元に届いたら、投票日時や投票所だけでなく、ご家族の分が入っているかもあわせてチェックしてくださいね。

必ずしよう!投票所入場券チェックリスト

- 投票日時
- 投票所の場所
- ご家族分が入っているか
- 名前に間違いはないか



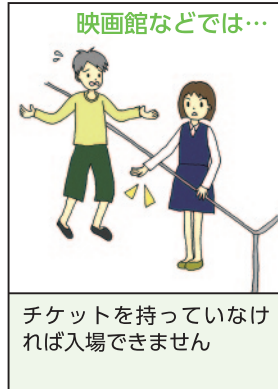
◆入場券を持って投票所へ行こう

投票所では、本人であるかどうかなどを選挙人名簿で確認します。

入場券を持っていれば、スムーズに投票していただけますので、投票日まで大事に保管し、忘れずに投票所へお持ちください。

◆どうしよう!?入場券がない

投票所は、映画館などとは違い、入場券がなければ入れないことはありません。選挙人名簿に登録されていることが確認できれば、入場券を



持っていないでも投票することができます。ただし、その場合は、手続きに少し時間がかかりますので、ご了承くださいね。

問い合わせ先
選挙管理委員会
(☎354-8269 FAX359-0286)

郷土史への扉

三岐鉄道平津駅から、朝明川を上流に向かい千代田橋を渡り、東名阪自動車道をくぐってしばらくすると右側の丘陵上に広古墳があります。

丘陵上には、7基の古墳があります。7基の古墳は、4基のまとまりであるA群と3基のまとまりであるB群に分かれており、土取りによって消滅の危機にさらされたため、A群の1・2号墳が史跡に指定され保護されることとなりました。

方墳(方形の古墳)が近接して築

市内の文化財などをたどりながら、郷土の歴史を紹介するコーナーです。今回は、県指定記念物(史跡)「広古墳A群」を紹介します。

かれた北勢地方では数少ない古墳群で、円墳も含まれています。いずれの古墳も発掘調査が行われておらず、造られた時期など詳しいことは明らかになっていませんが、この周辺では比較的大型の古墳で、地域の有力者の墓と推測されます。

A群は、方墳2基、円墳2基です。1号墳は台地の南端に築かれた方墳で、一辺16m・高さ4.5mです。2号墳も方墳で、一辺12m・高さ2.3mです。ともに良好な状態で保たれています。

B群は、A群の北西方向にあり、

方墳2基、円墳1基です。1号墳は一辺31m・高さ3.4mで、南側が方形に突出しており、小型の前方後方墳の形状をしています。

郷土の貴重な史跡を訪れてみてはいかがでしょうか。

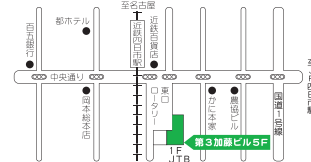


広古墳A群2号墳

問い合わせ先
社会教育課
(☎354-8240 FAX354-8308)

有料広告掲載欄

近鉄四日市駅から徒歩1分!
南改札口(東口)すぐ!



四日市市浜田町5番27号 第3加藤ビル5階
(1階にJTBが入ったビル)

自動車事故110番!!

交通事故相談 無料実施中! 土曜日や夜間も対応可(要予約)

借金問題も相談料無料です!

相続・離婚・感謝料・不動産・
会社法務などもご相談ください。
一般法律相談料(初回)30分 5,250円

お困りではないですか?

- 示談の話が進まない...
- 過失割合に納得ができない...
- 後遺症の認定に満足できない... など

"お気軽にお電話ください" "迅速&丁寧に対応します!"

《予約制》☎059-350-2080

尾市法律事務所

弁護士 尾市淳二 (三重弁護士会所属)

お知らせ

市議会

議長に藤井浩治議員 副議長に加納康樹議員
監査委員、議会運営・各常任委員会委員も決まる

5月開会議会が、5月15日・16日に開かれ、平成24年定例会の会期を平成25年4月30日までの351日間と決定し、議会役員が選出されました。(敬称略)

問 議会事務局

(☎354-8257 FAX354-8304)

■ 議会選出監査委員 川村高司 中川雅晶 藤井浩治議長 加納康樹副議長

■ 議会運営委員会委員 (◎…委員長 ○…副委員長)

◎土井数馬 ○中森慎二 伊藤修一 小川政人 川村幸康
笹岡秀太郎 杉浦 貴 竹野兼主 豊田政典 中川雅晶
三平一良 毛利彰男 諸岡 覚

■ 常任委員会委員 (◎…委員長 ○…副委員長)

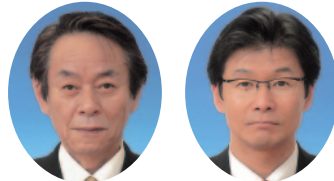
総 務 ◎早川新平 ○芳野正英 川村高司 笹岡秀太郎
中川雅晶 野呂泰治 藤井浩治 毛利彰男
森 康哲

教育 民生 ◎樋口博己 ○村山繁生 石川勝彦 小川政人
土井数馬 豊田政典 中森慎二 日置記平
山口智也

産業 生活 ◎山本里香 ○中村久雄 荒木美幸 石川善己
伊藤 元 加納康樹 小林博次 樋口龍馬
森 智広

都市・環境 ◎諸岡 覚 ○加藤清助 伊藤修一 伊藤嗣也
川村幸康 杉浦 貴 竹野兼主 三平一良
村上悦夫

予 算 ◎伊藤修一 ○三平一良 ほか議長を除く全議員
決 算 ◎竹野兼主 ○森 康哲 ほか議長および議会選出の
監査委員を除く全議員



地域マネージャーを募集します

市民生活課(☎354-8146 FAX354-8316)

■ 主な受験資格

次の条件をすべて満たす人

- (1) 地域活動などの経験があり、地域社会づくりに積極的に取り組む意欲がある
- (2) 市内に在住している
- (3) 民間企業などで職務経験がある(公務員は退職後3年経過していること)

■ 募集人数 1人(保々地区)

■ 任期 7月23日から平成25年3月31日(再任用する場合もあります)

■ 勤務地 保々地区市民センター

■ 職務 地区市民センターにおける地域社会づくりに関する業務

甲 6月7日~22日(必着)に、所定の用紙に必要書類を添え、郵送か直接、〒510-8601 市役所5階市民生活課へ

他 募集要項は市民生活課と各地区市民センター、楠総合支所にあります

私の好きな 四日市

市民の皆さんから市内のすてきな風景や、ちょっとお茶目なお子さんの写真を寄せていただくコーナーです。今回はどんな写真かな？

あなたの大好きな四日市の写真を募集！

ご応募は、住所、名前、電話番号、コメントとともに、メールか郵送、直接、〒510-8601 広報広聴課(市役所8階 ☎354-8244 FAX354-3974 ✉kouhoukouchou@city.yokkaichi.mie.jp)へ送ってください。選定の上、広報よっかいちで掲載します。



▶▶ 松原町にお住まいの野呂志げ子さんからの投稿
ウミガメの産卵で知られる楠町の吉崎海岸です。
子どもの頃、富田の浜で泳いで遊んだことを思い出そうです。

有料広告掲載欄

くわしん 羽津支店

〒510-0007 四日市市別名4丁目1番5号
TEL 059-332-2233

毎月第2日曜日 年金相談

- ◆ 年金手続きはどうすればいいの？
- ◆ 年金はいつからもらえるの？

※ご相談の際には、「年金手帳」「ねんきん定期便」「年金証書」「認印」等をご持参ください。



日曜ローンなんでも相談会

毎月 第2・4日曜日開催 午前10時~午後4時

お子様の
教育資金

マンション
購入

住宅の新築
増改築

住宅資金の
借換え

マイカー
購入資金



本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

四日市の日本一

自動販売機（清涼飲料）の生産台数

日本中の至るところで見かける、自動販売機。もしかしたら、旅先で見かけたものも四日市でつくられたものかもしれません（約12万台 平成23年度生産台数）

富士電機リテイルシステムズ株式会社 岡村大輔さんにお話を聞きました。



Q. 全国でのシェアはどのくらいですか？

約50%です。中でも約95%が清涼飲料水の自動販売機で、残り5%がタバコと食品の自動販売機です。

この工場ではニーズに合わせて、500~600種類の自動販売機を生産しています。

Q. 新しい技術を取り入れた珍しい自動販売機があれば教えてください。

省エネ効果の高いハイブリッドヒートポンプ自動販売機に加え、駅などで少しずつ見かけるようになってきましたが、食品を販売する自動販売機があります。

パンやカップめんのほか、冷蔵も可能なので、チョコレートなどの暑さに弱いものも販売できるようになりました。

このコーナーでは、公認のものから非公認、詳しい統計のあるものからないものまで、四日市が日本一と思われるものを紹介します。



ハイブリッドヒートポンプ自動販売機



食品自動販売機

知っとく情報 自動販売機雑学

同社が一番最初に生産したのは牛乳の自動販売機でした。



生産の様子

コイル材を曲げ加工したものを溶接ロボットで溶接し、つり掛けられた部品に粉体塗装を行います

板金加工の様子



塗装の様子



別工程で組み立てられた冷却ユニットを取り付け、最終チェックを受けた自動販売機が梱包され、搬送されます。

6月が旬！ジャガイモのレシピ！

6月が旬の新ジャガレシピの登場！
地元四日市のジャガイモ料理を食べて元気になりましょう！



四日市はジャガイモの「指定産地」です

指定産地とは…
国が国内でよく消費される野菜14品目について、その野菜の安定供給などを維持するために産地の指定をしています。

四日市のジャガイモ農家さん

やまはらただひこ
桜町の山原忠彦さん

山原さんは昨年から市で奨励している学校給食の食材提供に取り組んでいる農家さんです。



四日市のジャガイモの多くは、栽培に適している赤土で栽培されているので、全国的にも品質が良いと評判なんです。地元の旬の野菜を食べていただき、野菜本来の味を知ってもらいたいですね。

山原さんのジャガイモ畑です。

ちょこっとレシピ

山原さんより、お手軽レシピを紹介してもらいました。

作り方

ジャガイモを適当な大きさに短冊切り（厚さ2mm）にして、水にさらした後、油で炒めて、最後にしそふりかけ、じゃこを混ぜ合わせてできあがり。

ジャガイモの栄養

フランスで「大地のりんご」と呼ばれるジャガイモ。栄養の主成分は、でんぷんで、ビタミンC、B1、カリウムなども豊富です！
ビタミンCやB1は皮膚や粘膜の健康維持を助け、カリウムは余分なナトリウム（食塩の成分）を体外に排出する働きがあります。

四日市のおいしいレシピ

四日市ならではのメニューや地元で生産された農産物のおいしいレシピを紹介します。

～おいしいレシピ～（健康づくり課からレシピ提供）

新ジャガイモとサヤインゲンのごまみそあえ

材料(4人分)

新ジャガイモ250g(2~3個)、サヤインゲン5本、調味料A(みそ大さじ2/3、みりん大さじ1、しょうゆ小さじ2)、白すりごま大さじ1



作り方

- ①新ジャガイモは皮をむいて一口大に切る。
- ②サヤインゲンはゆでて2cmの長さに切る。
- ③①を鍋に入れ、かぶるくらいの水で串が通るまでゆで、水けを切る。再び弱火にかけて水分をとばし、鍋をゆらしながら粉ふきいにする。
- ④Aの調味料は混ぜ合わせておく。
- ⑤ジャガイモが温かいうちに、サヤインゲンと④を加えてよくあえる。さらに白すりごまをふりかけてあえる。

ワンポイント

チーズをのせてオーブントースターなどで焼くとグラタン風になっておいしいですよ！



有料広告掲載欄

おんぴとクレヨン親子リズム教室



うさぎクラス(2歳から入園前の幼児と母親)
内容…リズム活動 表現活動 絵画制作など
時間…10:00~10:50

見学や会費など詳しくは お電話にてお問い合わせ下さい。

☎ 059-334-0465 渡辺まで

各員募集

リズム活動や製作を取り入れた楽しいレッスンです。親子のふれあいを通して、心と体の豊かな成長をめざします。

ひよこクラス(1歳の幼児と母親)
内容…リズムあそび ポールあそび シール製作など
時間…11:00~11:45

あさけフラガ6/15 22. 29 7/6. 13. 20

四日市市文化会館6/21. 28 7/5. 12. 19

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

有料広告掲載欄

入ってよかった

建労

四日市支部
随時加入者募集中

三建国保

組合独自の建設労働者の健康保険
出産育児一時金(42万円)
葬祭費(本人10万円・家族7万円)
高額療養費、施設利用補助、無料健康診断の開催
人間ドックに対する補助(3万円)
脳ドックに対する補助(2万円)など

三重県建設労働組合四日市支部
四日市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531代

四日市市 住宅リフォーム助成制度ができました。

1件当り助成限度額
=工事費の20%(上限20万円)

「住まい」のことなら、地域に根をはり、建築活動に長年の実績をつみかさねてきました、建労の組合員に
=地元の業者なら安心・お値打ち=

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

自分らしく暮らせるまちを目指して 人権のひろば～人権・同和教育シリーズ～



【人の世に熟あれ、人間に光あれ】

これは、日本初の人権宣言と言われる水平社宣言の結びの言葉です。1922（大正11）年、被差別部落の人々が人間の尊厳と平等をうたい立ち上がった全国水平社の創立大会で読み上げられました。

今年はこの宣言から90年。その間「同和対策事業特別措置法」などが制定され、全国的に事業が進められました。本市においても、厳しい現実を踏まえ、部落差別を解消するための取り組みを行ってきました。その結果、生活環境などのハード面を中心に改善され、一定の効果はあり

ましたが、依然として結婚差別や土地差別など課題は残されており、今後も継続的な取り組みが必要な状況です。

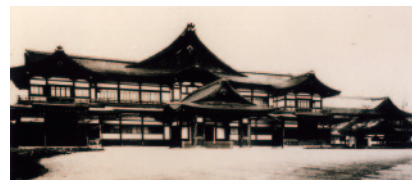
【人権課題の解決に向けて】

さらに、女性、子ども、高齢者、障害者、外国人市民などを取り巻く課題のほか、多様化する人権課題にも取り組む必要があります。本市では2005（平成17）年3月に「人権施策推進プラン」を策定して、その解消を目指しています。

策定から7年が経過した今年、市民の代表などからなる人権施策推進懇話会や、人権に関わる各審議会な

どからも幅広く意見を聴き、プランの一部を見直しました。

今後もこのプランを基に、誰もが自分らしく暮らせるまちづくりを市民の皆さんとともに進めていきます。



創立大会が開催された京都市の岡崎公会堂
（写真提供 水平社博物館）

お問い合わせ先
人権・同和政策課
☎354-8293 FAX354-8611

表紙こぼれ話

今回は、レスリングが盛んな三重県の中でも最もメンバーが多く、全国レベルの選手も多数所属する「四日市ジュニアレスリングクラブ」の皆さんに表紙を飾っていただきました。



年少から中学校3年生までの約50人が7月末に行われる全国少年少女レスリング選手権優勝を目指して猛練習を重ねています。

今年度の表紙のテーマは、「スポーツで頑張る市民」です。全12回さまざまな種目のスポーツに打ち込む人々をご紹介します。

今回は、4月に東京都で開催された「平成24年度ジュニアクイーンズカップレスリング選手権大会」で優勝した富田小学校4年生の寺本鈴さんと、大矢知興譲小学校2年生の稲垣和さんにレスリングへの思いを聞きました。

■寺本さん いとこのお兄ちゃんがレスリングをやっていたのを見て、自分もやりたいと始めました。最初は周りの子よりも遅れていて、くやしい思いもしたけれど、頑張って練習して、全国大会で優勝できるようになりました。次の大会でも優勝を目指します。



■稲垣さん 3歳の時に、二人のお姉ちゃんがやっていたのを見て始めました。苦しい練習もあるけれど、優勝して家族や友だち、近所の人から「おめでとう」と声をかけてもらうとうれしいです。これからも頑張ります。



取材後記

全国的にも50人もの選手が所属するレスリングクラブは珍しいとのことで、道場は、選手たちの熱気と活気に満ちあふれていました。すばやい動きと、組み合う迫力は、笑顔のかわいい普段の子どもたちの姿からは想像できないほど。インタビューをさせていただいた二人も、将来はオリンピックの金メダルが目標だとのこと。四日市から金メダリストが誕生することが楽しみです！

お問い合わせ先
広報広聴課
☎354-8244 FAX354-3974

有料広告掲載欄 CTY Wi-Fi を使おう!!

CTYインターネットユーザーは
無料で接続可能!

ホームページ⇒<http://www.cty-net.ne.jp/>

CTY TEL 0120-30-6500 詳しくはお問合せください。
月～土（9:00～19:00）



本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■人口 314,074人 [4月末日現在(-331)] ■火災件数 12件 [4月分(±0)] ■交通事故件数 864件 [4月分(+9)] (前年比)